

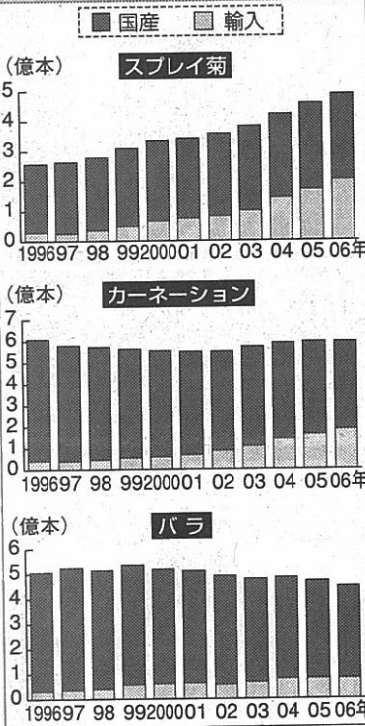
期待高まる

MPS

②

2000年を境にスプレイ菊、カーネーション、バラの輸入が急増した。例えば、スプレイ菊は国内生産量と輸入本数が肩を並べようとしている。このままでは、エクアドルやコロンビアからの輸入によって主要切り花3品目の生産が崩壊した米国の二の舞となる。

国内生産量と輸入量の推移



生産者は、鮮度と品質という国内産切り花のメリットをフルに活用しなければ、今後、花き業界の中で生き残れないであろう。

こうしたメリットを最大限生かすために、MPS-Florimark (花き流通認証) およびMPS-Florimark (花き流通認証) による認証取得が重要な役割を果たす。

また、中国製冷凍ギョーザ中毒事件などから、花きでも、安心・安全を

求める消費者が増えている。生産過程での農薬、肥料、水、エネルギーなどの使用履歴をチェックして記帳、登録するMPS-ABCの取得は、生産者にとって大きな武器となる。

国際化が進む国内花き産業の将来を考える上で無視できないのは、消費者の動きだ。消費者の動向を正確に判断し、消費者ニーズに対応することが重要である。MPS認証参加者が、今後、日本の花き産業のけん引役となることは間違いない。

差別化

消費者ニーズに対応

学部長教授 福井博一